

1 基本目標の概要

「しごと」と「ひと」の好循環を作り出すため、ものづくりや医療、農業などの強みを活かした産業振興・競争力強化などに産学官金が連携して取り組み、質・量ともに魅力ある、安定した雇用を創出する。

さらに、地域企業と学生のマッチングなどに積極的に取り組み、市内の大学等をはじめとした新卒者の地元就職を促進する。

基本目標

安定した雇用を創出する

【数値目標】

- ・基準年(H26年度:16,507人)を上回る年間新規雇用者数を毎年創出する。
- ・市内大学等の新卒者の市内企業への就職率:12.1%(H26年度) ⇒ 17%(H31年度)

施策の基本的方向

- ① ものづくりなど 頑張る企業を地域で応援する
- ② 医療の集積を活かす
- ③ 職業としての農業の魅力を高める
- ④ 久留米市での就業を応援する

重点事業

- ① 関連：耳納北麓（職遊一体型）グリーンアルカディア創生パッケージ
(新たな産業拠点整備事業)
- ③ 関連：雇用・就労応援パッケージ（久留米でやってみん農・就農なんでん応援事業）
- ④ 関連：雇用・就労応援パッケージ（「久留米で創業」応援事業、学生・企業Win^2事業）

2 平成28年度の新規・拡充の取り組み等

① 関連

- ・「久留米市産業振興協議会」を創設。産学官金連携のオール久留米での取り組みを開始し、その中で、ものづくり、売れる商品づくり、販路開拓、資金調達の各支援の仕組みを構築。
- ・販路拡大を図るため、電子商取引に係るセミナーの実施や、展示会出展の際に必要な経費の一部を助成。
- ・福岡県・うきは市と連携し、久留米・うきは工業用地整備事業に着手。



ジェトロ展示会

② 関連

- ・理化学研究所と地域の大学、企業との連携体制の具体的なプランの作成。



理化学研究所と久大との連携

③ 関連

- ・「農業実践研修事業」による就農前の農業技術習得の支援開始。
- ・「女性農業者の活躍促進事業」による機器の導入や新商品開発などの支援開始。



農業実践研修

④ 関連

- ・「くるめ創業ロケット」を開設。
- ・「雇用・就労推進協議会」を創設。産学官金労のオール久留米での取り組みを開始。
- ・「久留米創業ネットワーク会議」構成団体との連携による創業支援セミナー等開催。

3 数値目標・KPI・課題

数値目標

| 数値目標 | 基準値→ H31目標値 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 進捗度 | 評価 |
|------------------------|---------------------------|-----|-----------|---------|-----|----|
| 基準年を上回る年間新規雇用者数を毎年創出する | 16,507人 ▼ 基準年を毎年上回る | H27 | 16,507人以上 | 16,639人 | ○ | A |
| | | H28 | 16,507人以上 | 17,375人 | ○ | |
| | | H29 | 16,507人以上 | | | |
| | | H30 | 16,507人以上 | | | |
| | | H31 | 16,507人以上 | | | |
| 市内の大学等の新卒者の市内企業への就職率 | 12% ▼ 17% | H27 | 13.0% | 12.9% | △ | B |
| | | H28 | 14.0% | 11.2% | × | |
| | | H29 | 15.0% | | | |
| | | H30 | 16.0% | | | |
| | | H31 | 17.0% | | | |

○：達成できた(100%以上) △：概ね達成できた(70-100%未満) ×：達成できなかった(70%未満) -：現時点では判断が困難
A：目標を達成できる見込み B：目標達成には努力を要する C：目標達成には厳しい状況にある

KPI

| 施策の基本的方向 | KPI数 | H28年度の進捗度 | 目標年度(H31年度末)の達成見込み |
|------------------------|------|-----------------|--------------------|
| ①ものづくりなど 頑張る企業を地域で応援する | 12 | ○ 8 △ 1 × 2 - 1 | A 9 B 3 |
| ②医療の集積を活かす | 3 | ○ 2 - 1 | A 2 B 1 |
| ③職業としての農業の魅力を高める | 4 | ○ 1 △ 1 - 2 | A 3 B 1 |
| ④久留米市での就業を応援する | 2 | ○ 2 | A 2 |

○：達成できた(100%以上)
△：概ね達成できた(70-100%未満)
×：達成できなかった(70%未満)
-：現時点では判断が困難
A：目標を達成できる見込み
B：目標達成には努力を要する
C：目標達成には厳しい状況にある

課題

- ① 関連： ・ 企業の成長や創業等を地域全体で支援する取組みの充実・強化。
- ② 関連： ・ 医療の集積を活かし、地域企業を成長させる取組みの充実。
- ③ 関連： ・ 次世代を担う若い農業者の確保及び育成。
- ④ 関連： ・ 地元企業で働く魅力発信の更なる強化。 ・ 労働環境改善等の促進。

4 今後の展開

- 全般：久留米市産業振興協議会、久留米市雇用・就労推進協議会による、産学官金労の連携による民間主体の取組みを推進する。
- ① 関連： 地域企業の新事業展開等への支援を強化する。また、新産業団地の開発及び企業誘致を着実に進めるとともに、中心市街地等へのオフィス誘致も積極的に行う。
 - ② 関連： 理化学研究所との連携事業を継続して事業化を目指すとともに、連携拠点化の推進に取り組む。
 - ③ 関連： 就農前の支援に加えて、就農後の経営力向上のための取組みを推進する。また、集落営農組織の法人化や経営力向上のための取組みを推進する。
 - ④ 関連： インターンシップ向け企業説明会の実施や、情報誌「くるめで働こう！」の発行とともに、産学官金労の取組みの強化による効果的な事業展開を図る。

1 基本目標の概要

久留米市の人口減少を抑制するため、移住希望者に久留米暮らしのよさを実感してもらい、市外からの転入者、とりわけ大都市圏からの転入者の増加に取り組む。

また、戦略的な成長分野として「観光」を位置づけ、豊富な地域資源を活用して国内外から観光客を呼び込み、地域経済の活性化に結び付けていく。

基本目標

久留米市への新しい人の流れをつくる

【数値目標】

- 大都市圏への転出超過数 : 650人 (H24~26年度平均) ⇒ 550人 (H31年度までの5年間平均)
- 年間観光客数 : 515万人 ⇒ 700万人

施策の基本的方向

- ⑤ 久留米を知って感じてもらう
- ⑥ 希望の暮らしをサポートする
- ⑦ 観光と文化で人を呼び込む

重点事業

【⑥関連】

・移住・定住安心サポートパッケージ（移住サポート事業、文化芸術・スポーツによる楽しみ創出事業）

【⑦関連】

・耳納北麓（職遊一体型）グリーンアルカディア創生パッケージ（耳納北麓観光振興事業）
 ・オール久留米で観光客獲得パッケージ（MICE誘致推進事業、インバウンド推進のための環境整備事業、西鉄沿線周遊観光推進事業、久留米版DMO設置事業）

2 平成28年度の新規・拡充の取り組み等

⑤久留米を知って感じてもらう

- ・福岡市での「久留米フェスティバルin天神」開催による市のPR活動
- ・九州男児新鮮組とのダンスプロジェクト、プロモーション動画作成
- ・ヤフオクドームのホークスビジョンや西鉄天神駅でのPR広告の実施
- ・久留米暮らし体験会（PRイベント、見学ツアー）の実施



久留米フェスティバルin天神

⑥希望の暮らしをサポートする

- ・移住定住促進センター設置。東京、久留米に移住コンシェルジュ配置
- ・庁内関係窓口の連携による移住定住の相談対応の充実
- ・移住希望者向け「久留米暮らしマップ」の作成



移住コンシェルジュによる相談対応

⑦観光と文化で人を呼び込む

- ・フルーツ観光農業の推進に向けた、フルーツ農園の機器導入等補助
- ・MICEに関する大会等開催支援制度の拡充
- ・タイ・バンコクにおけるインバウンド拡大に向けたプロモーションの実施
- ・久留米シティプラザでの多彩な公演や大規模コンベンションの誘致
- ・新たに開館した久留米市美術館における、魅力ある展覧会の開催と石橋文化センターを1つのミュージアムと捉えた一体的な事業の展開。



タイ国際旅行博での観光プロモーション

3 数値目標・KPI・課題

数値目標

| 数値目標 | 基準値⇒ H31目標値 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 進捗度 | 評価 |
|-----------------|---------------------------------|-----|-------|----------------|-----|----|
| 大都市圏への 転出超過数 | 650人/年 ▼ 5年間の平均 550人/年 | H27 | 550人 | 547人 | ○ | A |
| | | H28 | 550人 | 467人 | ○ | |
| | | H29 | 550人 | | | |
| | | H30 | 550人 | | | |
| | | H31 | 550人 | | | |
| 年間観光客数 | 515万人 ▼ 700万人 | H27 | 530万人 | 525万人 (集計中) | △ | A |
| | | H28 | 600万人 | | | |
| | | H29 | 650万人 | | | |
| | | H30 | 680万人 | | | |
| | | H31 | 700万人 | | | |

■評価のポイント

名古屋圏、大阪圏、福岡市に対しては、転出超過数が増加したが、対東京圏は、転入超過に好転し、平成28年度単年の転出超過数は386人に減少し、2カ年度平均でも467人と目標値を達成した。

実績値は集計中だが、政策パッケージの取組み強化や久留米シティプラザ、久留米市美術館、平成30年度供用開始予定の久留米総合スポーツセンターを活かした、積極的な取組みを展開し、目標達成を図る。

○：達成できた(100%以上) △：概ね達成できた(70-100%未満) ×：達成できなかった(70%未満) -：現時点では判断が困難
 A：目標を達成できる見込み B：目標達成には努力を要する C：目標達成には厳しい状況にある

KPI

| 施策の基本的方向 | KPI数 | H28年度の進捗度 | | | |
|----------------|------|-----------|--------|--------|--------|
| ⑤久留米を知って感じてもらう | 2 | ○ 1 | △ 1 | | |
| ⑥希望の暮らしをサポートする | 1 | | ○ 1 | | |
| ⑦観光と文化で人を呼び込む | 10 | ○ 4 | △ 1 | × 1 | - 4 |

目標年度（H31年度末）の達成見込み

| |
|---------|
| A 2 |
| A 1 |
| A 10 |

○：達成できた(100%以上)
 △：概ね達成できた(70-100%未満)
 ×：達成できなかった(70%未満)
 -：現時点では判断が困難
 A：目標を達成できる見込み
 B：目標達成には努力を要する
 C：目標達成には厳しい状況にある

課題

⑤久留米を知って感じてもらう

・「移住促進イベントの参加者数」が目標値に未達であることから、魅力ある移住促進イベントの開催とともに、市の魅力の幅広いPRと必要の人に必要情報を届ける効果的な情報発信の強化が必要である。

⑥希望の暮らしをサポートする

・大都市圏への転出超過数は、減少傾向にあり、その傾向を維持するため、東京都や福岡市からの移住者拡大に向けた取り組みや、移住の受け皿の充実が必要である。

⑦観光と文化で人を呼び込む

・MICE関連など一定の成果は上がっているものの、ポテンシャルを十分に生かした集客にまでは至っていないため、より効果的な情報発信やターゲットを見据えた施策の重点化、経済効果の向上を図る必要がある。

4 今後の展開

⑤久留米を知って感じてもらう

- ・移住定住情報や市の魅力を掲載した総合サイトの構築、アンテナショップを活用した効果的な情報発信
- ・移住希望者の多様なニーズに対応する「オーダーメイド型体験会」の実施

⑥希望の暮らしをサポートする

- ・アンテナショップでの移住相談窓口の開設や福岡都市圏への移住コンシェルジュによる出張相談の実施
- ・地域での移住サポートや移住者向け就労支援など、移住の受け皿づくりの強化

⑦観光と文化で人を呼び込む

- ・「食」の情報発信などによる、グリーンアルカディア創生パッケージの取組み強化
- ・久留米版DMO設置による、マーケティング・マネジメント機能強化
- ・地域資源を活かした、人を呼び込む仕掛けづくり
- ・久留米シティプラザ、久留米市美術館を最大限に活用した取組み。
- ・久留米総合スポーツセンター体育館オープンを契機としたスポーツコンベンションの強化



久留米総合スポーツセンター体育館（イメージ）